

平成17年度 東オホーツクシーニックバイウェイ 活動報告

0. 地域活動報告の概要
1. ルート運営活動計画に関する地域の報告
2. ルート運営活動計画に関する行政の報告
3. 地域及び行政の運営に関する報告
4. 審査委員会意見に関する報告

0. ルート運営活動計画に関する地域の報告
・地域活動に関する報告(東オホーツク・ニッケルハイウェイ)

ルート名称: 東オホーツク・ニッケルハイウェイ		基本方針		ルート計画活動内容		No.		総括	
景 観 形 成	オホーツク海・斜里岳・知床連山・田園風景を美しく見せる (美しい沿道の保全・啓蒙)	鮮明な四季の色彩を見せる (花の沿道の創出・連携や植物群生の保全)	ビューポイントを再発見・創出する	小清水原生花園、以久科原生花園の保全(ネナンカズラの除去等)	H - 1	世界自然遺産の知床をエリア内に持つ東オホーツク・ニッケルハイウェイの 景観、ビューポイントを活用したツアーを行うとともに、この景観を保全するた めの活動も実施した。今後は、景観についての共通認識、基礎を字ひ、より世 界に通用する景観形成を目指す。			
				沿道の一斉清掃活動の実施					
				沿道の植栽活動の実施	H - 2				
				網走湖周辺の水芭蕉の保全活動					
				花を見る木道づくりの推進					
				東オホーツクは花カレンダーの作成					
				東オホーツク花シムボジウムの実施					
				景観探ツアーの実施	H - 3				
				東オホーツクフォトコンテストの実施					
				ビューポイントの再発見及び創出とビューポイントマップづくり	H - 9				
観 光 振 興	風を感じさせるマグネットポイントの創出	各地毎の滞在メニューの創出・連携	ビューポイントハブ・キングの拡充と保全	ビューポイントハブ・キングの拡充と保全	H - 3	冬に行った「大雪原をひとりとじめ」のように、農家の閑散期を利用して新しい試 みを創出することができた。今後も、普段の観光・旅行ではふれあうことのでき ない、地元地域の方々とコミュニケーションのとれるメニューづくりを行うと同時 に、コミュニティビジネスを視野に入れた企画・運営体制の構築も行っていく。			
				シーニックデックの創出	H - 4				
				流水茶屋、湖畔茶屋、山の茶屋の創出					
				サケ・サケラマを見れる拠点の創出や清掃	H - 3				
				東オホーツクウォーキングルートの選定とソフトバスづくり					
				ホーストレッキングルートの選定	H - 10				
				エコツアーの連携や自然探索ツアーの実施	H - 5				
				馬やハルーン景観の研究	H - 10				
				東オホーツクトラベルの研究	H - 11				
				東オホーツク観光塾の創出					
地 域 づ く り	農・水・林・地域文化資源の発掘と連携	楽しみ創出 (東オホーツク文化・ライフの追求)	活動団体向けニュースペース・パーの発行	東オホーツクエリアガイドの育成と仕組みづくり	H - 6	世界自然遺産知床の先住民エコツーリズム・シムボジウムをはじめとした、 地域の歴史・自然を戻す取り組み、また、今までになかった、地域の 資源をまとめたエリアマップの作成を実施することができた。今後は、これらの 地域に関する情報を蓄積し、これからの地域づくりを行う次世代への引き継 ぎ、育成に関して取り組んでいく。			
				地域資源の洗い出しマップの作成とバス発掘ツアーの実施	H - 3				
				地域特産物の販売やPR活動					
				先住民フォーラムの実施	H - 7				
				植林事業等の実施					
				温泉情報マップの作成	H - 9				
				文化施設等との連携による文化発信					
				ソフトバスづくり					
				オホーツクハブ・ボンの研究					
				外国人交流の実施と誘致					
オホーツクのオリジナル食メニューの研究	H - 8								
地 域 づ く り	楽しみ創出 (東オホーツク文化・ライフの追求)	活動団体向けニュースペース・パーの発行	HPの創出と各町観光情報とのリンク	活動団体向けニュースペース・パーの発行	H - 9				
				HPの創出と各町観光情報とのリンク					

1. ルート運営活動計画に関する地域の報告
・地域活動に関する報告(東オホーツク・ニッケル・イウエイ)

ルート名称: 東オホーツク・ニッケル・イウエイ		報告者: 東オホーツク・ニッケル・イウエイ連携会議 代表 高谷弘志		報告年月: 2006/3/31				
基本方針	ルート計画活動内容	No.	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括	
景観形成	小清水原生花園、以久科原生花園の保全(ホナンカズラの除去等)	H-1	小清水原生花園の保全(ホナンカズラの除去等)	東オホーツク・ニッケル・イウエイ連携会議	8月29日(月)	網走国立公園小清水原生花園風景回復対策協議会の主催で「ホナンカズラの除去作業」を地域域の小学生からお年寄りまで参加。次年度も日程等を考慮し、保全活動を行う予定。	世界自然遺産の知床をエリア内に持つ東オホーツク・ニッケル・イウエイの景観、ビューポイントを活用し、ツアーを行うとともに、この景観を保全するための活動も実施した。今後は、景観についての共通認識、基礎を学び、より世界に通用する景観形成を目指す。	
	オホーツク海・斜里岳・知床連山・田園風景を美しく見せる(美しい沿道の保全・啓蒙)		沿道の一斉清掃活動の実施	しゃりP244沿道景観整備協議会	8月7日(日)	斜里町の一般国道244号も清掃活動を実施。次年度は、他の活動団体との連携を上げ、活動を行う。		
		沿道の植栽活動の実施	H-2	ウトロ沿道花の苗植栽	うとろナチュラルクラブ	6月19日(日)		ウトロ市街地の沿道に花の苗植えを実施した。植栽の規模がいさかいため、連携して行うほどではなかったが、事前に実施に関する情報発信は必要だったと思われる。
		網走湖周辺の水芭蕉の保全活動		網走湖水芭蕉群落保全	網走湖・水と緑の会	4月29日(金)		網走湖水芭蕉群落の風倒木(一部分)撤去作業を実施。残りの風倒木については、今後、協議を行いながら進める。
		花を見る木道づくりの推進		-	東オホーツク・ニッケル・イウエイ連携会議	-		今後、東オホーツクエリアの花に関する情報収集を行う。
		東オホーツクは花カレンダーの作成		-	東オホーツク・ニッケル・イウエイ連携会議	-		今後、東オホーツクエリアの花に関する情報収集を行う。
		東オホーツク花シンポジウムの実施		きよさと国際花サミット2005フォーラム	清里町商工会	7月9日(土)～10日(日)		きよさと国際花サミット2005フォーラム実行委員会が中心となり、清里町商工会をはじめ、北海道・北海道開発局・清里町等行政との連携により行われたフォーラム。パネルディスカッション、ガーデンング講習会、ガーデンングツアーが実施された。
		景観探ツアーの実施	H-3	ビューポイント探しバスツアー	東オホーツク・ニッケル・イウエイ連携会議	6月4日(土)10月10日(月・祝)		このツアーは春と秋の2回実施しており、参加者の満足度は高かった。
		東オホーツクフォトコンテストの実施		東オホーツクフォトコンテスト	東オホーツク・ニッケル・イウエイ連携会議	6月4日(土)～2月28日(火)		東オホーツク・ニッケル・イウエイのエリアを対象としたフォトコンテストを開催。道内外から627の作品が応募。入賞作品は、今後、東オホーツクのPR等に用いられる。
		ビューポイントの再発見及び創出とビューポイントマップづくり	H-4	東オホーツク・ニッケル・イウエイマップ	東オホーツク・ニッケル・イウエイ連携会議	6月・9月・2月		6月・9月・2月の3回、東オホーツク・ニッケル・イウエイマップを配布。マップ上にビューポイント掲載。
	ビューポイントパークキングの拡充と保全	H-3	ビューポイント探しバスツアー	東オホーツク・ニッケル・イウエイ連携会議	6月4日(土)10月10日(月・祝)	このツアーは春と秋の2回実施しており、参加者の満足度は高かった。今後は、このツアー等でビューポイントの創出し、ビューポイントパークキングへとつなげていく予定。		

基本方針	ルート計画活動内容	No.	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
東オホーツク型観光の研究	シーニックデッキの創出	H - 5	シーニックデッキ	東オホーツクツーリズムハイクウェイ連携会議	6月～10月	デッキに関しては、観光客はもとより、地域住民の方からの支持が高く、継続的な設置の要望があり実施した。	冬に行った「大雪原をひとりじめ」のように、農家の閑散期を利用して新しい試みを創出することができた。今後も、普段の観光・旅行ではふれあうことのできない、地元の方々々とコミュニケーションのとれるメニューづくりを行うと同時に、コミュニティビジネスを視野に入れ、企業・運営体制の構築も行っていく。
	風を感じさせるマグネットポイントの創出		-	東オホーツクツーリズムハイクウェイ連携会議	-	シーニックデッキの設置まででは行ったが、そこを利用した茶屋の創出までは、施設、人、資金の問題で行えなかった。	
	流水茶屋、湖畔茶屋、山の茶屋の創出		-	東オホーツクツーリズムハイクウェイ連携会議			
	サケ・サクラマスを見れる拠点の創出や清掃	H - 3	ビューポイント探しバスツアー	東オホーツクツーリズムハイクウェイ連携会議	6月4日(土) 10月10日(月・祝)	秋のツアーの際に、サケの遡上ポイントをまわっており、参加者の満足度は高かった。今後、河川の清掃活動も検討。	
	東オホーツクウォーキングルートの選定とフラットバスづくり		-	東オホーツクツーリズムハイクウェイ連携会議			
	各地毎の滞在メニューの創出・連携	H - 6	オホーツクホーストレッキングin網走2005	オホーツクホーストレッキングin網走実行委員会	10月1日(土)・2日(日)	各地域のウォーキングルート、フリットの情報収集を実施中。今後、これらを利用したウォーキングツアーも計画予定。	
	馬やハルーン景観の研究	H - 7	大雪山をひとりじめ	東オホーツクツーリズムハイクウェイ連携会議	2月1日(水) ～28日(火)	この企画は、冬期に使用しない農地を利用して、観光客に自由に使ってもらいたい、というもので、参加人数は少なかつたが、参加者の評価は高かつた。	
	東オホーツク観光の創出	H - 8	東オホーツク撮影ツアー	東オホーツクツーリズムハイクウェイ連携会議	10月1日(土)・2日(日)	オホーツク公園でとらんど(網走市周辺をゆっくと馬で巡る初心者用コースと、本格的なトレッキングで海・山・森林浴を存分に満喫出来る中・上級者用コース)が用意され、初心者から上級者まで皆様に楽しんでいただけるホーストレッキングを実施。参加者の方には、馬からの景観を楽しんでいただき、好評だった。	
	東オホーツク観光の創出	H - 9	エリアガイド育成事業	東オホーツクツーリズムハイクウェイ連携会議	10月8日(土)・9日(日)	地元のカメラマンが東オホーツクエリアの撮影ポイントを紹介。今回は、知床の紅葉、サケの遡上、キガラン・ひまわり畑、湧湖の夕景などの撮影をおこなった。46名が参加した。	
東オホーツクエリアガイドの育成と仕組みづくり		-	東オホーツクツーリズムハイクウェイ連携会議	-	東オホーツクエリアのガイド育成用に教本となるような資料を作成中。今後はこの教本を利用したガイド講習会の開催、ガイドの認定を検討。		

基本方針	ルート計画活動内容	No.	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
地域づくり	地域資源の洗い出しマップの作成とバス発掘ツアーの実施	H - 3	ビューポイント探しバスツアー	東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議	6月4日(土) 10月10日(月・祝)	このツアーをきっかけに、地域資源の洗い出し、再発掘を行った。 今後、ホームページ等を用いた、特産物の販売・PRの検討を行う。	世界自然遺産知床の先住民族工コッシーズムシンボジウムをはじめとした、地域の歴史・自然を見つめなおす取り組み、また、今までになかった、地域の資源をまとめたエリアマップの作成を実施することができた。今後は、これらの地域に関する情報を蓄積し、これからの地域づくりを行う次世代への引き継ぎ、育成に関わり組んでいく。
	農・水・林・地域文化資源の発掘と連携			東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議	-		
	地域特産物の販売やPR活動			NPO法人知床ナチュラリスト協会	7月1日(金)	知床の先住民族工コッシーズムシンボジウムによるトークセッションを行った。	
	先住民族フォーラムの実施	H - 10	先住民族工コッシーズムシンボジウム	東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議	-	今後、東オホーツクエリアの植林・植樹について、検討を行う。	
	植林事業等の実施			東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議	6月・9月・2月	2月の東オホーツクシーニックハイウェイマップを「温泉」というテーマで作成し、好評だった。	
	温泉情報マップの作成	H - 4	東オホーツクシーニックハイウェイマップ	東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議	-	文化施設と連携した形での情報発信について、今後、発信する情報の内容等について検討を行う。	
	文化施設等との連携による文化発信			東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議	-	各、地域のウォーキングルート、フットパスの情報収集を行っており、今後、新たなフットパスの創出も考慮し、検討する。	
	フットパスづくり			東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議	-	今後の中長期的な取り組みとして、オホーツクバーボンまたはそれに類した商品の開発を行う。	
	オホーツクバーボンの研究			東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議	-	今後、外国人との交流の場を設け、ネットワークの構築を目指す。	
	外国人交流の実施と誘致			東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議	-	東オホーツクエリアの「食」について、ガイドブックの作成を検討。現在、リストアップができたところで、今後は、映像等の収集・充実が必要。	
	オホーツクのオリジナル食メニューの研究	H - 11	「食」のガイドブック	東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議	6月・9月・2月	6月・9月・2月の3回、東オホーツクシーニックハイウェイマップを情報拠点、道の駅、観光案内所、宿泊施設、レンタカー受付カウンター等で配布。好評だった。	
活動団体向けニュースペーパーの発行	H - 4	東オホーツクシーニックハイウェイマップ	東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議	-	東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議のホームページについて、ドメインの取得はできており、近日中に公開予定。		
地域連携による地域情報の発信			東オホーツクシーニックハイウェイ連携会議				

2. ルート運営活動計画に関する行政の報告
・行政の事業に関する報告 (東オホーツクツーニツクハイウェイ)

ルート名称: 東オホーツクツーニツクハイウェイ		報告者: 東オホーツク行政連絡協議		報告年月: 2006/3/31	
基本方針	平成17年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
オホーツク海・斜里岳・知床連山・田園風景を美しく見せる (美しい沿道の保全・啓蒙)	「ビューポイントパークキング」の整備	網走開発建設部・女満別町	6月25日(土)	女満別町「メルヘンの丘」に、地域住民とワークショップを行いながら「ビューポイントパークキング」の整備を行った。利用者アンケートの結果、PRや案内に対する要望が多かった。今後、案内版や広報等効果的なPR方法の検討が必要。	官民協働により、地域や利用者の満足度が高い道路施設の設置が実現した意義は大きい。「ビューポイントパークキング」は全国展開するところの先例となったこともあり、企画から実施に携わったメンバーの達成感も大きく、地域協働の好事例と判断している。
景観形成 鮮やかな四季の色彩を見せる (花の沿道の創出・連携や植物群生の保全)	きよさと国際花サミット2005フオーラム花と緑にあふれた潤いある街並みと美しい環境の創造をめざす「花と緑と交流のまち 清里町」町全体が花に包まれ、住む人にも訪れる人にも潤いと安らぎを与えることのできる「ふるさと清里町」と「フオーラム」のなかに、町制施行・町名改称50周年記念事業として、「花大陸Hokkaido」と「ツーニツクハイウェイ北海道」が連携し、「きよさと国際花サミット2005」を開催した。	きよさと国際花サミット2005フオーラム実行委員会・清里町商工会・北海道・清里町	7月9日(土)～10日(日)	地元住民、旅行者(ツアーの方々)も参加され、「花と緑と交流のまち清里町」が広く認知されたとともに、ツーニツクハイウェイ北海道の取り組みも多くの方に知っていたという機会となった。一方、東オホーツクツーニツクハイウェイとして登録直後の大イベントであり、行政・活動団体の金銭的・人的支援ルール等が異なる中での実施となり、その面では試行的となった。	このフオーラムは全道展開している「花」をテーマとしたイベント。この時期に女機中嶋朋子氏を招いて清里町で大々的に開催できたことは、清里町のPRに留まらず、東オホーツクツーニツクハイウェイ活動のキックオフとしても極めて有意義だった。
ビューポイントを再発見・創出する	「ビューポイントパークキング」の整備	網走開発建設部・女満別町	6月25日(土)	女満別町「メルヘンの丘」に、地域住民とワークショップを行いながら「ビューポイントパークキング」の整備を行った。利用者アンケートの結果、PRや案内に対する要望が多かった。今後、案内版や広報等効果的なPR方法の検討が必要。	官民協働により、地域や利用者の満足度が高い道路施設の設置が実現した意義は大きい。「ビューポイントパークキング」は全国展開するところの先例となったこともあり、企画から実施に携わったメンバーの達成感も大きく、地域協働の好事例と判断している。
観光振興	風を感じさせるマグネットポイントの創出	網走開発建設部・女満別町	6月25日(土)	女満別町「メルヘンの丘」に、地域住民とワークショップを行いながら「ビューポイントパークキング」の整備を行った。利用者アンケートの結果、PRや案内に対する要望が多かった。今後、案内版や広報等効果的なPR方法の検討が必要。	官民協働により、地域や利用者の満足度が高い道路施設の設置が実現した意義は大きい。「ビューポイントパークキング」は全国展開するところの先例となったこともあり、企画から実施に携わったメンバーの達成感も大きく、地域協働の好事例と判断している。
	各地毎の滞在メニューの創出・連携				
	東オホーツク型観光の研究				

地域づくり	<p>農・水・林・地域文化資源の発掘と連携 楽しみの創出 (東オホーツク文化・ライフの追求)</p> <p>地域連携による地域情報の発信</p>	<p>東オホーツクシニツクハイウェイルートにある道路電光掲示板に「東オホーツクシニツクハイウェイルート」を表示</p>	<p>網走開発建設部</p>	<p>9月～</p>	<p>シニツクルートの周知はHPやMAPでされるが、それを展開していないドライバーへのルートPR・案内方法が不足している。これを改善する一歩となった。</p> <p>一方、電光掲示板によるルート表示のユーザー満足度が把握できていないのが課題。満足度評価をどう実施するか今後検討の必要あり。</p> <p>また、表示は国道のみであり、町道や道道との連携に向けて検討の余地あり。</p>	<p>取り組みとしては(満足度評価はできていないとはいえず)、ユーザーにとって負の要因はないと考えられる。</p> <p>この取り組みを行ったこと自体、マスクにも取り上げられ、それだけでもPR効果はあった。</p> <p>今後、電光掲示板以外の現地案内方法について、町道・道道との連携を含め、検討する必要がある。</p>
-------	--	---	----------------	------------	---	--

3. 地域及び行政の運営に関する報告
・東オホーツク・ニツクハ・ウエイ

ルート名称:東オホーツク・ニツクハ・ウエイ		報告年月:2006/3/31												
基本方針	具体の取り組み	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営 に関わる事 項	総会の開催		●5月20日							●12月20日			●3月17日	
	構成団体・活動理解 促進	●4月20日	●5月13日			●8月12日			●11月29日				●3月9日	
	役員会の開催	●4月7日 ●4月14日	●5月12日		●7月20日				●11月15日			●2月20日		
	分科会活動の試行			●6月4日							●1月20日		●3月1日	
事務局体制のス タート	NPO法人東オホー ツク・ニツクハ・ウ エイサポートセン ター(仮称)の設立													申請準備

ルート名称:東オホーツク・ニツクハ・ウエイ		報告年月:2006/3/20												
基本方針	具体の取り組み	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営 に関わる事 項	行政連絡会議の実 施								●11月2日				●3月22日	
	集中活動月間		6月集中活動月				9月集中活動月					2月集中活動月		

4. 審査委員会意見に関する報告
・東オホーツクネットワークハイクワイエ

ルート名称: 東オホーツクネットワークハイクワイエ	報告者: 東オホーツクネットワークハイクワイエ連携会議、東オホーツクネットワークハイクワイエ行政連絡会議	報告年月: 2006/3/31	
<p>シ-ネットワークハイクワイエ ルート全体 に対する意見</p>	<p>東オホーツクネットワークハイクワイエ連携会議の報告</p> <p>地域の隠れたビューポイントをめぐるバスツアー「ビューポイント探し景観バスツアー」を実施</p> <p>各分野の有識者を招いてのフォーラムやシンポジウムを開催</p> <p>エリアガイド育成の一環として「オホーツク百話(仮称)」を作成中</p> <p>「観光とユニバーサルデザイン」というタイトルで講演会を実施</p> <p>テレビ番組やプロロードテレビに東オホーツクネットワークハイクワイエ連携会議のメンバーが出演し、地域の魅力ある情報を発信</p> <p>新規登録希望活動団体向けに「説明会」を実施予定</p> <p>冬期には訪れることが困難な「神の子池」にかんじきを履いて訪れるツアー。曹放使われない雪原を観光客に自由に使うべく「大雪原をひとりじめ」という企画を実施</p> <p>地域の様々な活動団体(サイクリングの会、歩く会、大学など)との連携による、新たなエコツアーの実験を実施。冬期に使用しない農地を利用して、観光客に自由に使うべく、「大雪原をひとりじめ」という企画を実施(参加者は農家の方のおもてなしが受けられる)</p> <p>現在作成中の東オホーツクネットワークハイクワイエ連携会議ホームページを活用した情報共有システムの検討を行う</p>	<p>東オホーツクネットワークハイクワイエ行政連絡会議の報告</p> <p>ビューポイントパークキングの整備</p>	備考
<p>東オホーツクネットワークハイクワイエに対する意見</p>			

東オホーツクシニツクバイウェイ

THE OHOOTSUKI SCENE BIVWAY

H-1

『小清水原生花園の保全(ネナシカズラの除去等)』

【内 容】 小清水原生花園に「花が美しく咲き乱れる風景」の回復を図るため、東オホーツクシニツクバイウェイ運務会議メンバーがナシカズラやヨモギの除去作業を行った。

【主 催】 網走国定公園小清水原生花園風景回復対策協議会

【実施場所】 小清水原生花園の東部

【実施日】 8月29日(月)



東オホーツクシニツクバイウェイ

THE OHOOTSUKI SCENE BIVWAY

H-2

『ウトロ沿道花の苗植え』

【内 容】 知床半島の玄関となるウトロ市街地にて、うとろナチュレクラブを中心に地元民の力を、東オホーツクシニツクバイウェイ運務会議メンバーが、沿道の花壇に花の苗の植えを行った。

【活動団体】 うとろナチュレクラブ

【実施日】 6月19日(日)



東オホーツクシニツクバイウェイ

THE OHOOTSUKI SCENE BIVWAY

H-3

『ビューポイント探し景観ハスツアー』

【内 容】 各地域の方がガイド役となり、景観の良いポイントや残念な景観のポイントを歩き回り、見つけ出し、写真撮影、ポイントの整理を行った。ツアー終了後、ワーショップを行い、本日のポイントについて意見交換。

【主 催】 東オホーツクシニツクバイウェイ運務会議

【実施日】 6月4日(土)

【参加者】 30名



東オホーツクシニツクバイウェイ

THE OHOOTSUKI SCENE BIVWAY

H-4

『東オホーツクシニツクバイウェイMAP』

【内 容】 3回の集中運動目録にあわせ、東オホーツクシニツクバイウェイのマップを作成。配布。掲載内容は、シニツクシニツクポイントの掲載、情報拠点の掲載、シニツクポイントの掲載、景観の良いポイントの掲載、イベントの掲載、運動団体の紹介など。また、9月には「景観」2月号は「景観」をテーマに東オホーツクのおすすりめ店、温泉を掲載。

【配布部数】 20,000部(6月) 40,000部(9月) 45,000部(2月)

【配布場所】 情報拠点、道の駅、観光案内所、宿泊施設、レンタカー受付カウンターなど



東オホーツクシーニックバイウエイ

THE SHIP-ON-THE-SCENE DRIVE

H-5

『シーニックデッキ』

- 【内 容】 東オホーツクエリアの景観の優れたビューポイントにデッキを設置し、訪れる観光客や地元の方に、異感を楽しんでもらいたいだける像を提快。
- 【設置場所】 網走原生牧場観光センター(網走市)、藻琴山山荘(大空町)、じゃがいも街道(小清水町)、満岳荘(樽理町)、季風クラブ知床(網走市)
- 【設置期間】 6月から降雪まで



東オホーツクシーニックバイウエイ

THE SHIP-ON-THE-SCENE DRIVE

H-6

『オホーツクホーストレッキングin網走2005』

- 【内 容】 オホーツク公園でみくらんど(網走市)周辺をゆくりと馬で巡る初参加者用コースと、本格的なトレッキングで海・山・森林地を十分に堪能出来る中・上級者用コースが用意され、初心者から上級者まで皆様に楽しんでいただくホーストレッキング。
- 【主 催】 オホーツクホーストレッキングin網走実行委員会
- 【実施日】 10月1日(土)・2日(日)
- 【参加者】 30名



東オホーツクシーニックバイウエイ

THE SHIP-ON-THE-SCENE DRIVE

H-7

『大雪原をひとりのじめ』

- 【内 容】 誰の足跡もない、まっさらな大雪原を、あなただけに！！
知床・東オホーツクの1,000坪の雪原が1日使い放題。前人の音さんと地元民がふれあえるひと時があり、寒くもなったら、農家の暖かい部屋で、暖かい飲み物などが用意されている。
- 【主 催】 東オホーツクシーニックバイウエイ連携会議
- 【実施場所】 東オホーツク
- 【実施日】 2月1日(水)～2月28日(火)



東オホーツクシーニックバイウエイ

THE SHIP-ON-THE-SCENE DRIVE

H-8

『東オホーツク撮影ツアー』

- 【内 容】 地元のカメラマンが東オホーツクエリアの撮影ポイントを紹介。今回は、知床の紅葉、サケの遡上、キガラシ・ひまわり畑、満潮湖の夕暮などの撮影をおこなった。
- 【主 催】 東オホーツクシーニックバイウエイ連携会議
- 【実施日】 10月8日(土)・9日(日)
- 【参加者】 46名



東オホーツクシーニックバイウエイ

THE SHIP-ON-THE-SEA SCENE BIVOUAC

H-9

『エリアガイド育成事業』

【内 容】 東オホーツクエリアのガイド育成用に教本となる基礎データを収集中。
今後、この教本を使用するの講習会開催も検討中。



東オホーツクシーニックバイウエイ

THE SHIP-ON-THE-SEA SCENE BIVOUAC

H-10

『シレットコのシラ(風)を聴く〜先住民族エトゾーリスム』
世界遺産記念シンポジウム

【内 容】 石井ボンハ氏のトンコリやムックリの演奏、知床での先住民族エトゾーリスムの可能性について、石井ボンハ氏、小野有五氏、船橋幸司氏、藤崎達也氏、お客様によるトークセッション。先住民族によるエトゾーリスム
【主 催】 NPO SHINRA、シレットコ先住民族エトゾーリスム研究会(SPETR)
【実施日】 7月1日(金)シンポジウム、3日(日)モテルツアー
【参加者】 50名(シンポジウム、10名(モテルツアー))



東オホーツクシーニックバイウエイ

THE SHIP-ON-THE-SEA SCENE BIVOUAC

H-11

『「食」のガイドブック』

【内 容】 東オホーツクエリアにある、地元の方おすすめの食材、料理、お店を紹介するガイドブックを作成中。今後、このガイドブックをポケットブックとして、販売も検討。

